

## 第 9 回 千葉県高等学校ボルダリング大会プログラム

- 1 日時 平成 22 (2010) 年 11 月 21 日 (日) 8 時 30 分より
- 2 日程 08:30~09:00 受付 (ウォーミングアップ用ボードは 8:15 より使用可能)  
09:10~09:25 役員打合せ  
09:30~09:45 開会式 司会 : 原  
①主催者挨拶 (千葉県山岳連盟)  
②競技ルール説明・諸注意 (審判長)  
③諸連絡  
09:45~10:00 予選課題デモンストレーション  
10:10~10:25 予選①(1 課題 15 分) A 面 1 組 B 面 2 組 C 面 3 組 D 面 4 組  
10:26~10:41 予選②(1 課題 15 分) A 面 5 組 B 面 6 組 C 面 7 組 D 面 8 組  
10:42~10:57 予選③(1 課題 15 分) A 面 9 組 B 面 10 組 C 面 11 組 D 面 12 組  
10:58~11:13 予選④(1 課題 15 分) A 面 4 組 B 面 1 組 C 面 2 組 D 面 3 組  
11:14~11:29 予選⑤(1 課題 15 分) A 面 8 組 B 面 5 組 C 面 6 組 D 面 7 組  
11:30~11:45 予選⑥(1 課題 15 分) A 面 12 組 B 面 9 組 C 面 10 組 D 面 11 組  
11:46~12:01 予選⑦(1 課題 15 分) A 面 3 組 B 面 4 組 C 面 1 組 D 面 2 組  
12:02~12:17 予選⑧(1 課題 15 分) A 面 7 組 B 面 8 組 C 面 5 組 D 面 6 組  
12:18~12:33 予選⑨(1 課題 15 分) A 面 11 組 B 面 12 組 C 面 9 組 D 面 10 組  
12:34~12:49 予選⑩(1 課題 15 分) A 面 2 組 B 面 3 組 C 面 4 組 D 面 1 組  
12:50~13:05 予選⑪(1 課題 15 分) A 面 6 組 B 面 7 組 C 面 8 組 D 面 5 組  
13:06~13:21 予選⑫(1 課題 15 分) A 面 10 組 B 面 11 組 C 面 12 組 D 面 9 組  
**【決勝進出者はアイソレーションゾーンに移動】**  
14:30~15:18 女子決勝 (1 課題 4 分・4 課題)  
14:54~15:58 男子決勝 (1 課題 4 分・4 課題)  
15:58~16:30 表彰式準備・片づけ  
16:30~17:00 表彰式・閉会式 司会 : 関  
①成績発表 (競技委員長)  
②賞状伝達 (千葉県山岳連盟)  
③セッター講評  
④諸連絡その他 終了, 解散
- 3 参加選手 男子 111 名・女子 20 名・計 131 名\*予選 : 1, 2 組 (女子), 3~12 組 (男子)
- 4 表彰 個人 男子 1 位~8 位 (賞状, 1~3 位にメダル)  
女子 1 位~6 位 (賞状, 1~3 位にメダル)  
団体 男子 1 位~6 位 (賞状, 1 位にトロフィー)  
女子 1 位~3 位 (賞状, 1 位にトロフィー)  
※団体成績は各校上位 3 名の順位合計の少ない学校を上位とし, 順位合計が同数の場合は, 個人成績上位の選手のいる学校を上位とする。

## 5 競技方法

＜予 選＞・フラッシングのセッション形式で行う。

- ・屋内 A～D の 4 面で実施し、男女ともに各面 1 課題。
- ・各組 1 面制限時間 15 分以内に順番に課題を登り、合計完登数の多い方が上位、完登数が同じ場合には完登に要したアテンプト数の少ない方が上位、それが同じ場合にはボーナス・ポイント 2 (BP2) 獲得数の多いほうが上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 2 (BP2) 獲得に要したアテンプト数の少ない方が上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 1 (BP1) 獲得数の多いほうが上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 1 (BP1) 獲得に要したアテンプト数の少ない方が上位となる。
- ・自分の順番がきても登らない場合には、パスすることができる。
- ・競技終了のブザーがなったら直ちに競技終了となり、続行はできない。
- ・男子 10 名、女子 6 名が決勝進出予定。

＜決 勝＞・屋内 A～D の 4 面で男女とも 1 課題ずつの合計 4 課題。1 課題の競技時間 4 分。

- ・オンサイトで IFSC の予選・準決勝方式 (ベルトコンベア式)。
- ・1 課題終了後 4 分間の休憩をはさんで 2, 3, 4 課題目を登る。
- ・合計完登数の多い方が上位、完登数が同じ場合には完登に要したアテンプト数が少ない方が上位、それが同じ場合にはボーナス・ポイント 2 (BP2) 獲得数の多いほうが上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 2 (BP2) 獲得に要したアテンプト数の少ない方が上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 1 (BP1) 獲得数の多いほうが上位、それも同じ場合にはボーナス・ポイント 1 (BP1) 獲得に要したアテンプト数の少ない方が上位となる。同順位の場合には、予選へのカウントバックを行う。それでも 1 位が複数の場合にはスーパーファイナル (到達位置判定) を実施する。

＜共 通＞・スタートはホールド、スタンス共に必ず指示した位置から行わなければならない。

- ・スタートホールド以外のホールドを触るとアテンプト数に数えられる。
- ・「完登」とは、原則として終了点のホールドを両手で保持 (両手を添える) し、審判の「OK!」の音が発せられた時とする。
- ・「ボーナス・ポイント到達」とは、そのホールドの保持。
- ・「完登」「ボーナス・ポイント到達」の詳細はセッターの指示に基づく。

## 6 注意事項

- ① 選手は更衣を済ませた後、各自で十分にストレッチ、ウォーミングアップを行うこと。
- ② 荷物は各自の責任で管理し、特に貴重品の管理には十分注意すること。
- ③ アップはリード壁の下部を使用すること。
- ④ 予選各組の競技開始予定時刻 3 分前には必ず屋内ボルダリングウォール周辺に待機していること。時間になってもいない場合には次の順番の選手のアテンプトとなる。
- ⑤ 食事は各自で休憩時間内に適宜とること。ゴミは各自で持ち帰ること。
- ⑥ トイレは 1 階トイレを使用し、2 階以上、および立入禁止区域には入らないこと。

## 7 役割分担

競技委員長	樽
審判長	目次
審判	小林・齋藤・増淵・能勢・江野澤・小関・阿部安津史・小平 分担：A面（小林・能勢） B面（齋藤・小関） C面（増淵・小平） D面（江野澤・阿部）
成績回収・掲示	山田・植木
ルートセッター	三浦・大井・阿部雅史・羽鎌田
ビデオジャッジ	原政樹・福田
写真	鎌田・高山
タイムキーパー	高木・佐久間正秀
選手点呼・誘導	（予選A面）羽山 （予選B面）吉田 （予選C面）塚本 （予選D面）鶴澤 （決勝）和田・寺田・佐久間美弥子
式典・表彰	関・原政樹・高山
コンピュータ入力・集計	関・樽
総務，受付，接待，巡回	加藤・田部井・川瀬

## &lt;仕事内容&gt;

競技委員長：競技の進行，大会運営全般

審判：競技の判定。予選では順番に選手名を呼んで競技を行わせる。完登の場合は選手に大きな声で「OK！」と伝える。セッターと協力してホールドのブラッシングを行う。競技進行や判定などで問題が生じた場合には審判長と協議して対処する。

成績回収：予選の成績表を各回の競技終了の度に審判から回収して集計係に渡す。

セッター：課題の設定，予選のデモンストレーション，ホールドの回転などへの対処，ブラッシングその他審判の補助。

タイムキーパー：デジタルタイマーを正確に作動させ、手動ストップウォッチでバックアップする。

選手点呼・誘導：予選は競技開始3分前にそれぞれの壁の前で選手を点呼し競技に備えさせる。決勝ではアイソレーションゾーンで付き添い，選手の要請に応じてトイレなどに誘導する。競技開始前5分前までに、該当する順番の選手を壁の近くまで誘導して待機させる。審判の業務が円滑に進行するように協力する。

式典・表彰：開閉会式，表彰式の準備，司会進行，賞状，トロフィー，メダルなどの準備。

集計：成績表の作成。

ビデオジャッジ：判定用ビデオの撮影（ビデオ撮影はA B C D面すべて）。

総務・受付：受付時に選手の出欠，氏名（誤字の有無）の確認，参加費の徴収，領収書発行，資料・参加賞の配付。昼食の受け取り、配布。来賓接待。成績表の掲示など。

以上